

早期景気観測調査

【4-5月期調査結果報告書】

令和7年6月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的 : 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関 : 甲府商工会議所
3. 調査実施時期 : 令和7年5月19日(月)～5月30日(金)
4. 調査対象 : 当所会員 115 事業所
5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数 : 66 件
7. 有効回答率 : 57.4 %
8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【4-5月期の動き】

全体業況は ▲ 3.0 と前期と比較し改善
採算は改善基調だが先行き不安が広がる
向こう3ヶ月の業況は ▲ 24.2 と悪化する見通し。

4-5月期の全業種総合の業況DIは、▲3.0（前期比7.8ポイント増）と、前期と比較し改善した。従業員DIは▲24.2（前期比9.6ポイント減）と前回と比較し不足が適正に近づいた形。仕入単価DIはサービス業以外改善の傾向を見せたが、関税の影響と米価格の高騰など不安材料は多く、見通しは悲観的である。

業種別は以下の通り。

●製造業：業況DI **改善** （ **18.8**：前期比 31.3 ポイントの増加 ）

改善： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 金融貸出しDI 悪化： 従業員DI

不変： なし

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **0.0** と悪化する見通し。

●建設業：業況DI **悪化** （ **▲27.3**：前期比 **13.0** ポイントの減少 ）

改善： 採算DI 仕入単価DI 悪化： 売上DI 従業員DI

不変： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲27.3** と不変の見通し。

●卸売業：業況DI **悪化** （ **▲9.1**：前期比 **9.1** ポイントの減少 ）

改善： 採算DI 仕入単価DI 悪化： 売上DI

不変： 従業員DI 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲36.4** と悪化する見通し。

●小売業：業況DI **改善** （ **▲6.7**：前期比 13.3 ポイントの増加 ）

改善： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 金融貸出しDI 悪化： なし

不変： なし

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲46.7** と悪化する見通し。

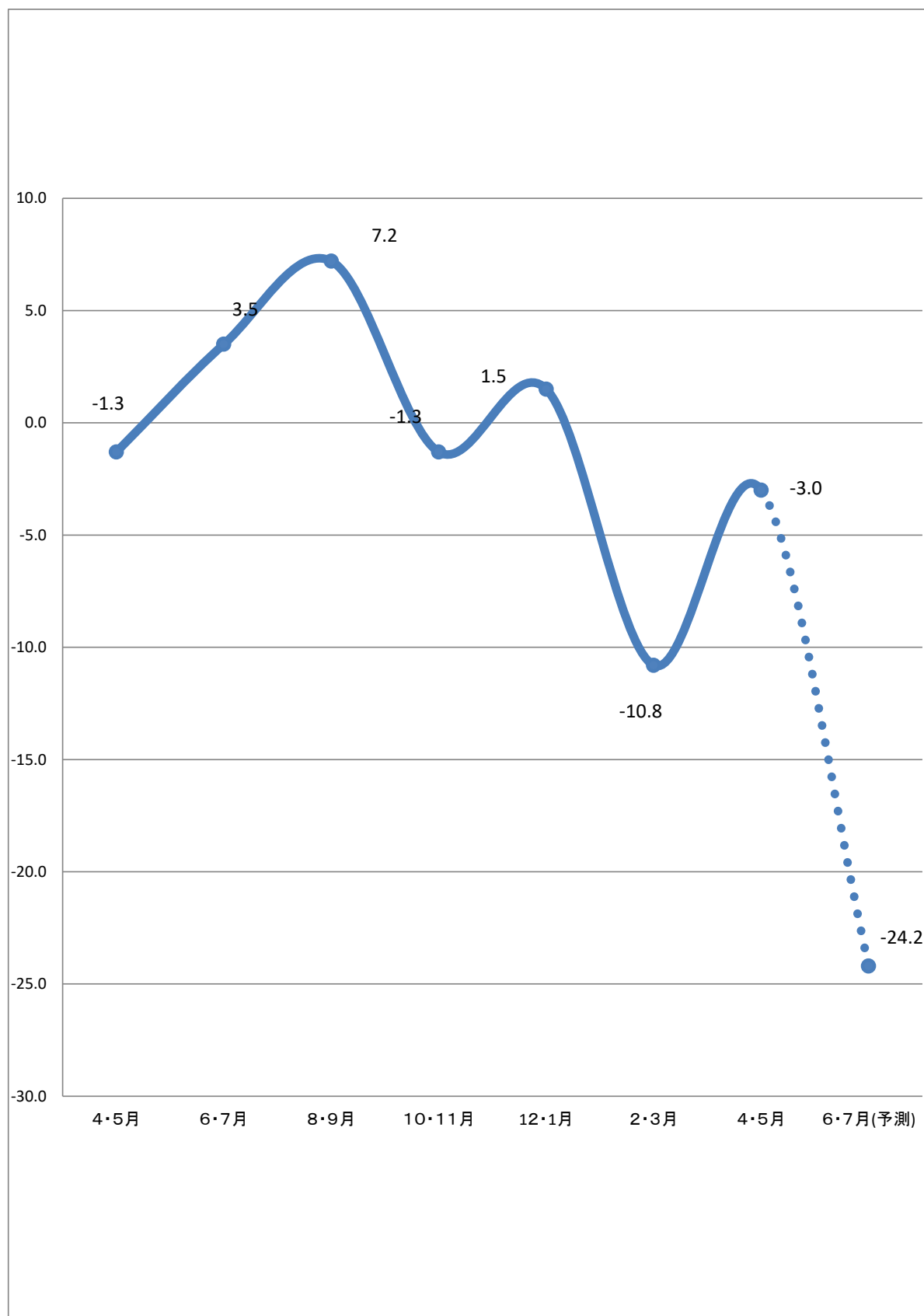
●サービス業：業況DI **不変** （ **0.0**：前期比 0.0 の横ばい ）

改善： 売上DI 仕入単価DI 悪化： 採算DI 従業員DI

不変： 金融貸出しDI

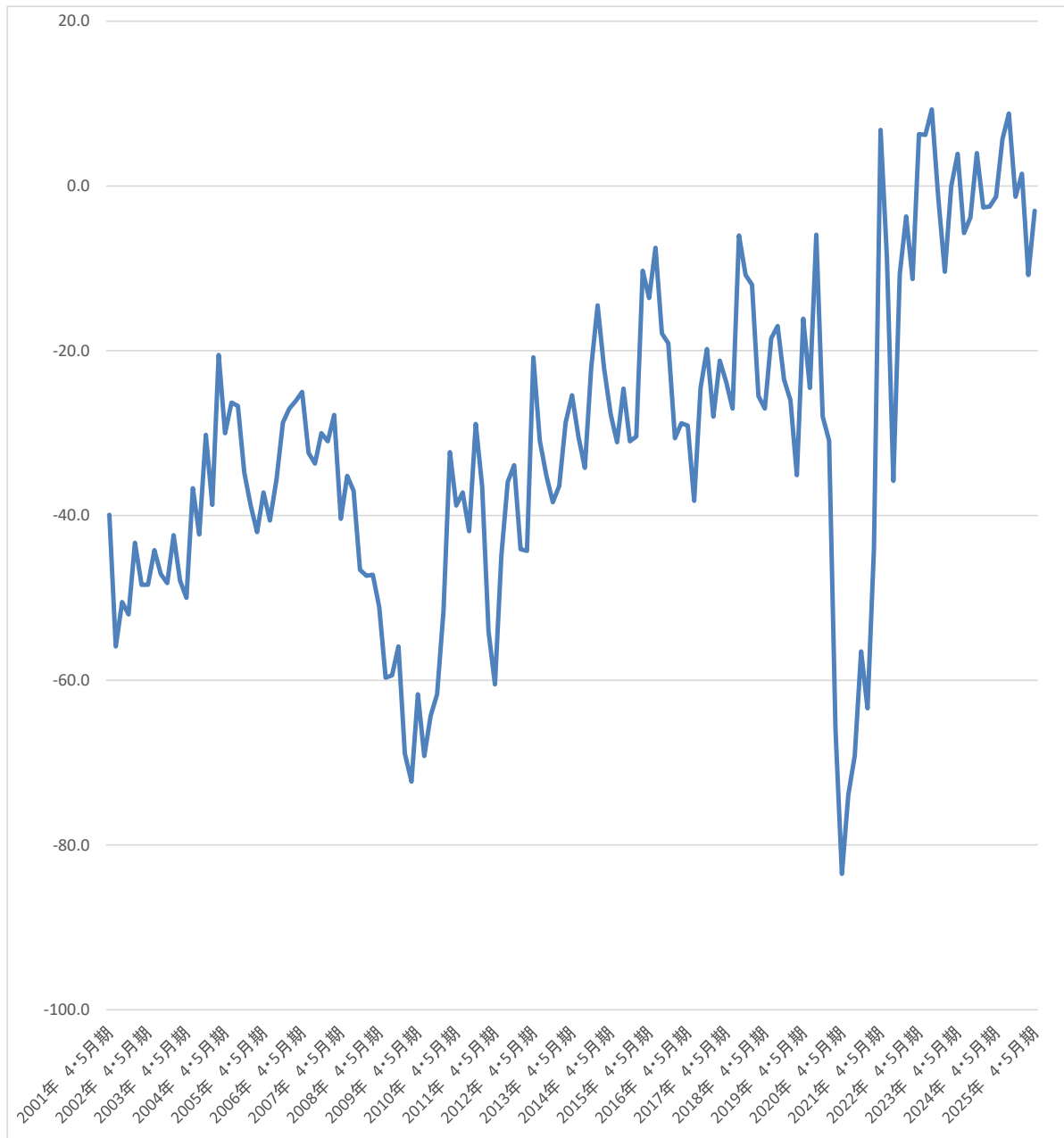
向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲15.4** と悪化する見通し。

業況DIの推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ～ 2025年4・5月期)

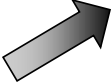
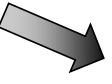


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

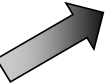
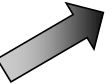
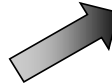
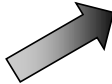
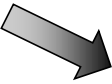
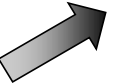
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3.0	▲ 24.2	4.5	▲ 9.1	▲ 54.5	24.2	0.0

全業種総合の業況DIは、 **▲ 3.0** （前期比 **7.8** ポイントの増加）となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善 (▲ 3.1 → 4.5) 従業員DI:悪化 (33.8 → 24.2)

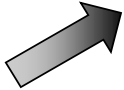
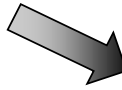
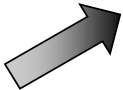
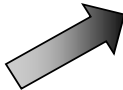
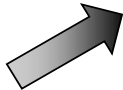
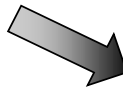
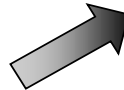
採算DI:改善 (▲ 18.5 → ▲ 9.1) 金融貸出しDI:改善 (▲ 6.2 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 72.3 → ▲ 54.5)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 24.2** と悪化する見通し。

◆業種別

○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
18.8	0.0	18.8	6.3	▲ 43.8	6.3	0.0

製造業の業況DIは、18.8 (前期比 31.3 ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

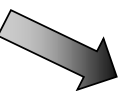
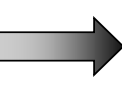
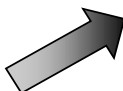
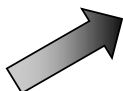
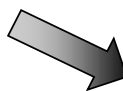
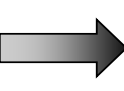
売上DI:改善 (▲ 18.8 → 18.8) 従業員DI:悪化 (12.5 → 6.3)

採算DI:改善 (▲ 25.0 → 6.3) 金融貸出しDI:改善 (▲ 6.3 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 62.5 → ▲ 43.8)

向こう3ヶ月の先行き業況は、0.0 と悪化する見通し。

○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 54.5	45.5	0.0

建設業の業況DIは、▲ 27.3 (前期比 13.0 ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

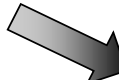
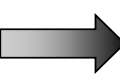
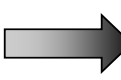
売上DI:悪化 (▲ 14.3 → ▲ 45.5) 従業員DI:悪化 (71.4 → 45.5)

採算DI:改善 (▲ 21.4 → ▲ 18.2) 金融貸出しDI:不変 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 78.6 → ▲ 54.5)

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲ 27.3 と不変の見通し。

○卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 9.1	▲ 36.4	27.3	18.2	▲ 54.5	36.4	0.0

卸売業の業況DIは、 **▲ 9.1** (前期比 **9.1** ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

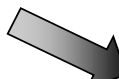
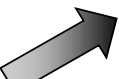
売上DI:悪化 (36.4 → 27.3) 従業員DI:不変 (36.4 → 36.4)

採算DI:改善 (▲ 9.1 → 18.2) 金融貸出しDI:不変 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 81.8 → ▲ 54.5)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 36.4** と悪化する見通し。

○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 6.7	▲ 46.7	▲ 6.7	▲ 20.0	▲ 40.0	13.3	0.0

小売業の業況DIは、 **▲ 6.7** (前期比 **13.3** ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

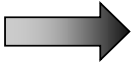
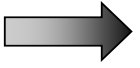
売上DI:改善 (▲ 13.3 → ▲ 6.7) 従業員DI:改善 (6.7 → 13.3)

採算DI:改善 (▲ 26.7 → ▲ 20.0) 金融貸出しDI:改善 (▲ 20.0 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 60.0 → ▲ 40.0)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 46.7** と悪化する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0.0	▲ 15.4	23.1	▲ 30.8	▲ 84.6	30.8	0.0

サービス業の業況DIは、 0.0 （前期比 0.0 の横ばい）となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善 (11.1 → 23.1) 従業員DI:悪化 (55.6 → 30.8)

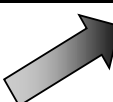
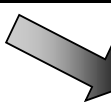
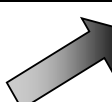
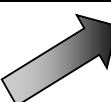
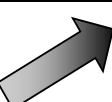
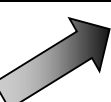
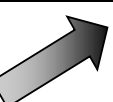
採算DI:悪化 (0.0 → ▲ 30.8) 金融貸出しDI:不変 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 88.9 → ▲ 84.6)

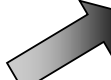
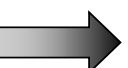
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 15.4 と悪化する見通し。

◆業種別詳細

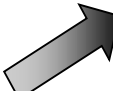
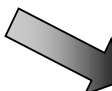
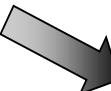
○製造業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

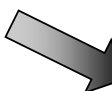
○製造業(工業製品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

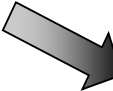
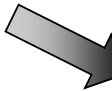
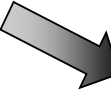
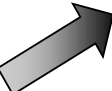
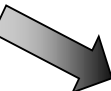
○製造業(宝飾)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

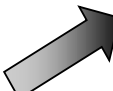
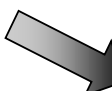
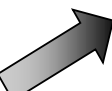
○建設業(建築)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

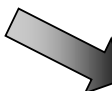
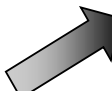
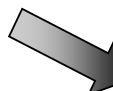
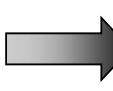
○建設業(土木)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

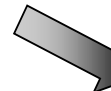
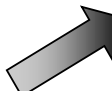
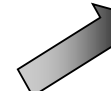
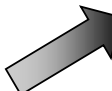
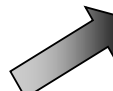
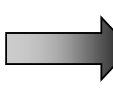
○建設業(鉄鋼)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

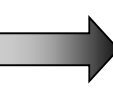
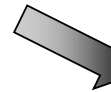
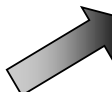
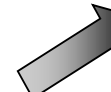
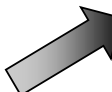
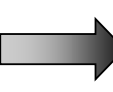
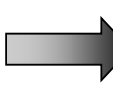
○卸売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

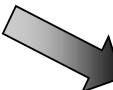
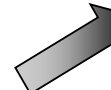
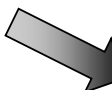
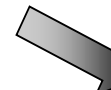
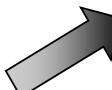
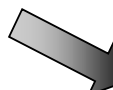
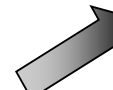
○卸売業(繊維)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

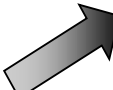
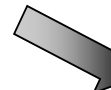
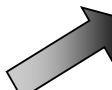
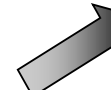
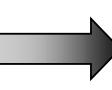
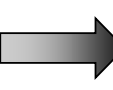
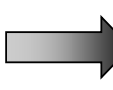
○卸売業(その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

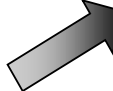
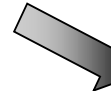
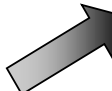
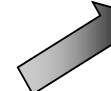
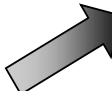
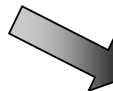
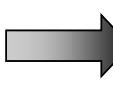
○小売業(大型店)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

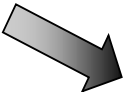
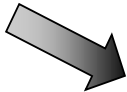
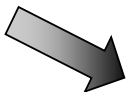
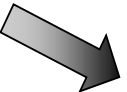
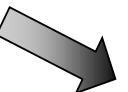
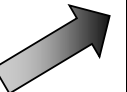
○小売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

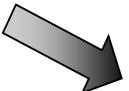
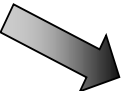
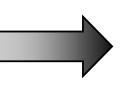
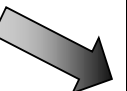
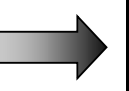
○小売業(事務用品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

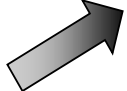
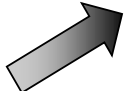
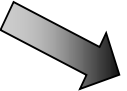
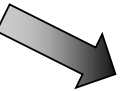
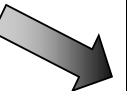
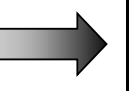
○小売業(趣味・日用品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

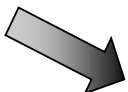
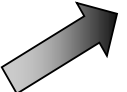
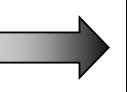
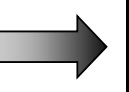
○サービス業(ホテル・旅館)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

○サービス業(観光)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

○サービス業(飲食その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆中小企業の声(現状や直面している課題 等)

【製造業】

製造業(宝飾)

・嗜好品としてのジュエリー市場はますます縮小傾向にあるものの現物資産としてのジュエリーには注目が集まってきているようで、嗜好性ジュエリーの低単価化、資産性ジュエリーの高単価化の二極化が目立つ。

製造業(食品)

・業況は不変ながら内訳としておせち予約注文下降、量販店向け商品は上昇といった傾向。
1月の政策金利引上げ以降やや円高傾向となり仕入単価は下降。
一方で金融借入金利の上昇が不安材料。今後いかに販管費を抑え利益確保するかが課題。
・米不足と米価格高騰が直近の当社業績にはプラスになっているがこの状況がずっと続く

製造業(工業製品)

・市場を静岡方面に大きく変化している。山梨県内は縮小要素が多いためである。
・売上高、前年同期とほぼ変わらず経常利益を変わらない状況である、前年同様に堅調に推移している。
今後はトランプ関税による景気への影響、為替レートの動向にもよるが、現状の水準を維持する見通しである。
米離れが加速する懸念がある。今のところは好調を維持している。

【建設業】

建設業(鉄鋼)

・原材料は高値で止まっている。納期は長期化し、労務単価は3年連続で上昇

【卸売業】

卸売業(食品)

・野菜に関しては昨年末から今年にかけて少雨の影響で一部生育環境の不安定による価格高騰
出荷量の減少が見られた。果実に関してはフルーツ王国を支える葡萄、桃が今から旬を迎えるにあたり
県内外の販売需要が多く見込まれる。
・店頭価格の売行きが各取引先悪い、為替で仕入単価が大きく変化し不安定、
取引先の店頭在庫も多く、6月以降苦戦することが予測される。

卸売業(その他)

・お客様の中でも好不調の格差が見受けられる。

【小売業】

小売業(趣味・日用品)

・街並みの空気が沈んでいる

小売業(大型店)

・コストコ集客もやや落ち着きを見せ、逆に足元商圏の消費者が行きやすい状況で、エリアの自社店舗の低下が明確となってきた。また、影響度の高いカテゴリーとしてはパン類、食肉となっている。今後、お盆や年末年始で人が集まる時期の集客に不安が残る。
・米の状況 競合他社の販売状況が悪化するにつれ、点数が伸長し、昨年を上回る。
仕入れも行っているが、大手卸から買っているリージョナルチェーンは在庫量が多い。
バックごはんや他の食材での提案を行っているが、米からのシフトは厳しい状況。
関西地域ではもとも米の供給源が少ないため、すでに5kg5000円を超えている模様ではあるが、他のメニューへのシフトは少ない模様。

・物価高により個人の消費マインドが低下しており、売上は不安定。
またトランプショックの影響により高額品動きも鈍く、先行きは不透明。
都内近郊の百貨店でも同様に前年割れの状況
・3月末をもって生鮮三品が撤退した。この影響を受け4月は対前年比95.8%となった。
生鮮を除くと対前年103.9%となったが減収傾向は当面続くと思われる。リーシングも苦戦している。

【サービス業】

サービス業(観光)

・燃料代価格の高騰、高止まりの状況が続いている。修理品、部品他全ての物品が値上がり傾向にあり、採算が低下。乗務員給与の引上げを実施した。
・依然原材料費値上げが続いており商品の値段を上げても追いつかない。

サービス業(ホテル・旅館)

・物価高、従業員不足が課題です。

サービス業(飲食)

・5月は連休等で営業日減だが客単価に助けられた。これが今後も継続するかは分からない。
4月からの酒類の値上げもあり現状在庫を増やさざるを得ない。利益が確保できているかは不明
・すべての仕入れが仕入価格10%前後上昇。冬場のガス暖房費等増加。
予約ベースは好調維持だが1月はキャンセル件数も異常に増加(体調不良が多い)